特定非営利活動法人
福山市身体障害者団体連合会

第５０号

福山市身連通信

２０２３（R．５）年4月

発行者　ＮＰＯ法人　福山市身体障害者団体連合会
編集者　福山市身連　広報部市身連通信編集委員会
連絡先　電話（転送）　０８４－９６１－４７３３

目　次

社会見学ツアー（岡山）　１
ふれあい福祉まつり開催　２
障害者週間　天皇皇后陛下ご出席
ハートフル文化祭開催　一　３
ハートフル文化祭開催　二　４
障害者雇用の動き　５
新年度活動の予定　６
役員更新　新年度は　７

組織強化・交流事業

岡山県社会見学ツアー

日時　令和四年十二月十六日
場所　岡山県日生町方面

このところ全国大会、中四国大会の現地開催がされなくその代替行事として研修旅行などをして会員の交流・情報交換を計っていますが、今年度県身連はそれについて会員の希望を聞き沖縄旅行を行いました。福山からも参加者があり、それに補助を出すか検討しましたが、少数の参加者に限られるので別に活動を企画してなるべく多数の人に対する方がいいと、事務局で計画し募集になりました。

ただ福山での県大会を終えての事業で日程が限られる中での話でしたが、岡山県の日生方面へのツアーで車いす使用者も一緒に行ける計画が出来ましたので早速会員に募集をかけることになりました。

利用するリフト付きバスは東広島から来てもらう事になり、やや割り増し料金で、年末近くの日程で参加者は十数人かと予算を立てるといつもより高くなりましたがそれでも予想以上の参加者があってのツアーとなりました。

十二月十六日、西から福山へ来てもらうバスなので参加者を乗せる順序が逆になり、先ず人権センターで十名程と添乗員さんを乗せて駅前に行きここでも十名程が乗車し、神辺に向かい途中広尾で一名王子で残りの参加者が揃い、福山東インターから高速に乗って岡山へ向かいました。

今回のバスは大きくてリフト付きなので電動車いすも参加出来、師走とはいえゆったりした気分で、参加者が二六名と予定を超えたので個人負担を減額して土産代に回してもらえました。

岡山ハレ割を使えるので日生でかき会席をゆっくり楽しめるのがメインのツアーとなり、海を臨む海岸近くの旅館「美晴」で焼きガキ食べ放題の会席料理でアルコールは自前で注文して、カキ尽くしの料理を、視覚の会員が何名も参加していますのでとなりから手伝いながら、昼食なので宴会気分とは行きませんが、腹いっぱい食事を楽しみました。

そこから近くの五味の市に行きクーポン券で買い物の予定でしたが、午前中に大型の団体に先を越されて商品は空っぽでした。となりのコンビニで少し使えて、次はサントリーのワイナリーに行き、今は工場見学はやってなく、試飲してワインやレーズンを買い、クーポンが平日なので一人三千円もらえていますが、使うには吉備のサービスエリアしかなく高速に乗りこれはもう帰り道となりました。

しばらく走って吉備に着き、ほぼ岡山名物菓子所のような店内でキビ団子などを買って帰路に着きました。今回事務局長がバスの時間に到着時間のクイズや帰りはイントロクイズを用意して、早当てで正解者に景品を出す企画をしていて退屈する事はありませんでした。

リフト付きバスが乗せた後エア調整をするのと乗せる時間が多少時間がかかり、帰りは予定より三〇分ほど遅くなりましたが、朝乗った逆の順で参加者はそれぞれバスを降り無事帰ってきました。天気は曇りから本当に晴になりました。

三年ぶり開催　第四六回

ふれあい福祉まつり開催

時　令和四年十二月二十四日
所　ポートプラザ特設会場

今年度は開催に向けて検討していますと言われながらその後の情報が何時もの開催時期まで発表がなかったふれあい福祉まつりについて十二月に入って発表があり、年末十二月二十四日、ポートプラザの店舗の間の広場を会場に開催すると通知があって参加申し込みの勧誘がありました。

押し迫った年末で、寒い屋外の会場で物品販売無しで、参加団体のPR等の展示と机一つの参加なので、参加の是非について検討しましたが、コロナで活動が制約されている事もあり参加することに決め資料の準備になりました。

これまでの連合会の参加は障害者相談コーナーを設けての参加でしたが、今年はパネル展示のみと言われていますので、園生事務次長が活動を示す写真等のパネルを準備してくれました。

当日の参加団体は今年八団体のみで予想通り会場は本当に寒い中で、主催者としては例年の行事として会長を始めマスコットのローラちゃんなども来て形としては出来ていましたが、ブースごとにパネルで囲まれてなく、展示は一ヵ所にまとめられて、ストーブがいくつか置かれていますがそばにいないと寒く、用意したパネルもテントからぶら下げて展示することになりました。

今回は午前一〇時から午後三時頃までの一日だけの開催でその周知期間も短く全体の参観者もあまり多くなくて開催の効果があったのかなと思う行事に思われました。連合会としては令和四年最後の集まりになりますので、この際機関紙の一月号を会場に来た各協会に配るつもりで、社協の印刷室を使わせてもらい印刷を始めましたが途中で印刷機が故障になり、二日がかりで印刷は出来ましたが福祉まつりには間に合わず、会員に配る事は出来ませんでした。

障害者週間　天皇皇后両陛下ご出席

表彰式でお言葉や懇談

十二月の第一週が障害者週間と定められて、国や各県でもそのための行事や啓発のための作文とかポスターを募集するなどの行事が行われていますが、今年も「体験作文」や障害者週間の「ポスター」が募集されてその優秀作品が総理大臣表彰を受ける表彰式が行われ天皇・皇后両陛下がご出席されました。

天皇陛下は二十五年前の皇太子時代から毎年のようにご出席になり障害者福祉にしっかりと感心を持たれて、今年も挨拶で「互いに人格と個性が尊重される共生社会が実現されることを願っています」と述べられ、表彰者に拍手を送られていました。その後表彰された児童や関係者とお二人で親しく懇談されたようです。

天皇家は障害者行事に必ず顔を出されカづけるお言葉を述べられていますが、筆者は広島国体の前年福島国体の会場で目の前で両陛下にお目にかかった事もあり、その昔島根身障国体に出場した時のアーチェリー会場で美智子妃殿下から、半袖で震えている自分に「寒くありませんか？」と声をかけられ、やせ我慢で「大丈夫です」と嘘を言ってしまった事は今も忘れることはありません。

第四回　令和四年度

ハートフル芸術・文化祭開催

時　令和五年三月五日（日）
所　人権センター三階学習室

コロナのため色々の行事が思うように出来なくなって三年経ち少し収まりを見せて、今年はあまり心配なく文化祭を出来ると楽しみにして年末ごろ人権センターに会場について話をしたところ、思いがけず正月からホールの改修工事に入るので三月まで使用できませんと言われガックリ！　です

ほかの会場があるか調べたり、今年度中止とするか思案の末他の施設での開催も不便だったり、経費が高額になったりで結局センター内で三階の学習室などを使って開催出来ないかとセンターと交渉して三部屋を利用して開催と決めました。この事はただ会場が小さくなっただけではなく色々不便や用意することが多く、出演する人の場所や展示する場所が限られたりし、ホールに比べて小さいので改めて音響さんに委託しないでもカラオケなども出来ないかと、先日県身連が購入したプロジェクターを借りて福山で実際に使用して見てその結果で市身連も今年県大会を省エネモードで開催して浮いた予算でプロジェクターをこれまでの様に他の団体のを借用するのでなく行事に必要な時いつでも使えるようスクリーンと共に購入することとしました。

楽器演奏やカラオケがハートフルの定番になっていますので、音響さんに頼めば三万いくらの経費が要り、プロジェクターを買っただけでは何でも出来るわけではなく根本氏のミキサーや園生さんが自宅で使っている機材も持ち込んで足りない機材を買う事にして、これらを接続して行事がこなせるよう先ず人権学習のＤＶＤ「お互いの本当が伝わる時」を上映してみ、大正琴などの演奏の音だしや午後からのカラオケでネットにつないだパソコンや園生さんのセットでプロジェクターでスクリーンに文字付きの映像やモニターへの映像も出して歌えるように出来ました。

今年もコロナは終息したわけではありませんが一月を山に徐々に少なくなっていてマスク・消毒不要というほど安全とは言えませんが四〇名を超える参加申し込みがあり、写真などの出展も色々あってホールより小さい学習室の席は満席状態となりました。

三月五日、当日朝はエアコンがいるほど低温でしたが春を感じさせる好天で、一〇時の定刻には一名の欠席以外全員が会場に揃い、先ず杉原副理事長が開会宣言をして続いて菅原理事長が開催の挨拶をして開会となり、最初のプログラム人権学習のＤＶＤ観賞になりました。この後にアンケートも考えましたが視覚の参加者が多くこの場での記入は無理と思い、それぞれに印象を心に留めてもらうこととしました。次は楽器演奏の四組の参加者による演奏で、二人の個人でのハーモニカ演奏と、大正琴とハーモニカ演奏の二つのグループによる演奏を聴いて午前の予定が終了となりました。

文化祭続き

昼休憩になり、昼食は会議室で弁当を配る事になっていてその部屋で食べられて、隣りの展示室にもテーブルがあり、全員三階で食事をすることが出来ました。

午後からのカラオケではこれを確実に出来る様園生氏が前日の機材をしっかり確認していましたのでエントリー順に問題なく出来ました。その中で二番目に歌う予定だった坪山氏が指の手術で退院予定がずれて欠席なので、その代わりに原田さんが飛び入りで急遽歌うことになり美声を響かせていました。エントリーの一五名程がコロナ前の様に　マスクだー消毒だ！と神経質になることなく楽しく歌えた様です。

そして最後は恒例になったビンゴで参加賞の袋にランダムに入れてある商品券の入っている袋をビンゴになった人から選べるゲームで、今回はなかなかビンゴがでませんでしたがビンゴになりだすと、今回前回の行事で残った商品券もあってほぼ半数の袋に入っていて、「あった！」と喜びの声があちこちから上がりました。

やや早めに行事が終了しましたので、今年の場合三階から使用したパネルなど一階へ戻す作業を元気で動ける人に助けてもらいながら片付けを済ませても日の暮れる時間にはならず、無事行事を終える事が出来ました。会場が変わって少々不行き届きの面もあったと思いますが参加者の皆さんご協力有難うございました。

楽器演奏出演者

1	ハーモニカ　独奏	鈴木　純治	港町十三番地　好きになった人皆の衆
2	大正琴　合奏	トワージュ・アンサンブル	みかんの花咲く丘　知床旅情 春のメドレー　さくらさくら
3	ハーモニカ・鼻笛演奏	根本　敏太郎	男はつらいよ　竹田の子守唄 昔の名前で出ています　他
4	ハーモニカ他　合奏	ハッピーマウンテンズ	小さな世界　愛の賛歌 トロイカ　いい日旅立ち　他

作品出展

- 写真　園生　浩治
- 写真　伊藤　幸雄
- 写真　根本　光子
- 写真　松岡　正明
- 木目込み人形　村上　孝江
- 押絵　小山　悦子
- アニメ模写　黒岩　美鈴
- 手芸　藤坂　美子
- ペーパークラフト　園生　浩治

代行業急増中
障害者雇用の動きは
令和以降の現状

障害者に対する福祉ということは補助を受けるだけでなく、健常者と同じように働ける事が大事な事であり、そのために企業に雇用されて働く場を作るよう求めてもらっていますが、２・３年前にはこの数を増やすために障害者とはいえない人も障害者の数にいれてごまかす事が、企業だけでなく公官庁でも行われていて是正を求められました。

その雇用率も一定の社員を超える企業の場合十年前より０．５％増やされていて、このところその雇用を代行するビジネスが急増している模様です。

障害者が働くにはその人たちを集めて仕事を受ける作業所が出来ていて（Ｂ型と言われる）そこで働けば全国平均で一か月約一万６千円ほどの収入となるようです。しかし企業で雇用されて働くことになれば十数万円の月給が得られ収入としては格段の差があります。

しかし会社の中で健常者並みに仕事をこなせる障害者は限られ、このところその中を取り持って、その人たちを働かせる農場等を用意し、企業が雇用した人を働かせて雇用率を達成させるビジネスが出てきて、現在八百社がこれを利用しているようです。

そのしくみは

＊代行業者が働きたい障害者と指導者を募集して企業に紹介

＊企業が障害者達と雇用契約をし、業者に人材紹介料や農園利用料を支払う。

＊農園に複数の企業の障害者を集めて作業するが農園で出来た作物は販売はせず、ほとんど社員に配布している。

＊昨年末頃で約三・四千人の障害者が働きそのほとんどが知的や精神障害者ですが、その人たちに聞くと「とにかく楽だった」と言い時間内のほとんどが休憩時間だったようです。

障害者の関係者に聞くと収入は大きく違うのでそのメリットはあるが、雇用された会社の仕事には全く組み込まれてなく、これで社会復帰と言えるのかと疑問に感じられているようです。

会社側にすると、社内に障害者雇用に伴う設備が不要で、障害者の対応で心使いもあまり心配なく、この利用で便利に雇用率を達成出来る事になっています。

現在、大都市圏で多く利用されていて中国地方では今は岡山県で一ヵ所だけの様ですが、今後全国的に広がる事もあるかと、障害者団体からはこれに批判的で、国にこの利用を抑えていくよう訴えていくと言っています。

トルコ・シリアで
大地震犠牲者多数

日本も震災の多い国で我々の記憶でも神戸などの関西での大震災で地震とその後の火事で多くの人命が失われ、もっと最近では東北の大地震とそれに伴う津波の災害で大変多くの人命が失われました。

２月上旬にトルコやシリアにまたがり大変大きく２０キロを超える長距離の断層で地震が起き多くの建築物が崩壊し、状況が分かるたびに犠牲者の数が倍増して十日後には４万人超えたと言われています。両国とも国内に色々問題があり反体制の地区や民族問題があって政府自体も全国的な対応をしないばかりか、その地区を砲撃したとか、国際援助もスムーズの入れなく、寒さに震える被災者になかなか援助が届かない状態の様です。

どちらもトップが独裁者であり平和でない国での震災は多くの犠牲者が出るべくして出たようです。法律が守られ平和な国だと犠牲も少なく援助も早く届いて救えたのではと思われます。

令和５年度に入りましたので総会までは確定ではありませんが、予定されている行事・活動について掲載して起きます。

令和５年度活動予定				
			令和５年４月１日～令和６年３月３１日	
月	日	行事	場所	備考
4		市身連会計　監査会	市身連事務所	
		市身連　理事会	市身連事務所	
5	14	広島県障害者陸上大会	東広島陸上競技場	
		市身連　年次総会	人権センター	
6	16～	日身連　全国大会	和歌山県(リモート)	ユーチューブ配信16～22
	7～9	大会代替行事	愛知県内	社会見学ツアー
		福山市障害者相談員研修	すこやかセンター	
		相談員協議会　総会	同会場で	
7		招待ボウリング大会	キャッスルボウル	
9		県身連　クラフト交流		
10	5	中四国相談員研修会	愛媛県民文化会館	
	26	広島県身障福祉大会	東広島市	黒瀬生涯学習センター
		中四国福祉大会	開催不可	担当県連が脱退
		代替行事		
	28～30	全国障害者スポーツ大会	鹿児島県	燃ゆる感動かごしま大会
11	29～30	県相談員・指導者研修会	呉市グリーピア	宿泊研修
12	3	市身連　スポーツ行事		ボウリング等
令和６年				
2		ハートフル文化祭	人権センターホール	
3		市身連　理事会	市身連事務所	

連合会　新年度役員更新

令和５年度に入りまして、我々の福山市身連は理事等役員の任期が終わり更新する年になります。県身連では更新の年かどうか分かりませんが、会長の交代の話が出ているようで新体制での年度となるようです。

福山市身連もそのような事があるかと３月の役員会で役員改選について打診をしましたが、主要な役員はほぼ再任OKで、役員会への出席がままならない理事１・２名については退任の意向も示されており、これを認めたり、新しく理事になってもらう候補もあって、多少の変更があっての新体制となる予定です。これまでの役員名を掲載し、新役員が決定されれば改めて次号で発表します。

役員名簿

令和３年４月１日～令和5年３月３１日

役名	氏名	連合会役員	所属	相談協
理事長	菅原　晃	理事長	車いす協会	会長
理事	井上　佐智子	副理事長	難聴協会　会長	副会長
理事	杉原　瑞枝	副理事長	ろうあ協会　理事長	副会長
理事	根本　敏太郎	事務局長	視覚協会	事務局長
理事	坪山　明生	事務局次長	車いす協会　会長	監事
理事	村上　友一	会計	福山協会	
理事	前川　昭夫		視覚協会	理事
理事	江草　忠儀		福山協会	
理事	大成　敏正		視覚協会　会長	理事
理事	種本　益明		福山協会　会長	監事
監事	園生　浩治		神辺協会　会長	事務局次長
監事	大村　徳子		福山協会	会計

NPO法人　福山市身体障害者団体連合会

http://fukuyamasisinren.sub.jp/

インターネットの検索欄で、上記のアドレスをいれて検索するか、福山市身連の文字を入力して検索して見て下さい。ホームページをご覧いただけます。